

小5

国語

読解

こたえ

なまえ _____

読解 水の旅

_____ がつ _____ にち

次の文章を読んで、問いに答えましょう。

- ① 海や川の水が水蒸気になるのは、何によつてですか。 イ
- ア 風の力 イ 太陽の熱 ウ 雲の重さ
- ② 雲は、何が集まってできますか。七字でぬき出しましょう。(7字)
- 小さな水のつぶ
- ③ 地下水について、本文に書かれていることはどれですか。 イ
- ア すぐに海へ流れる イ 長い年月をかけてわき水になることがある ウ 雲になって空へのぼる
- ④ 筆者は、水を大切に使うことがどんなことにつながると述べていますか。
- 水の旅(循環)を守ること

地球上の水は、同じ場所にとどまっているわけではありません。海や川の水は、太陽の熱で温められて水蒸気^{すいじょうき}になり、空へのぼっていきます。空の高いところで冷やされた水蒸気は、小さな水のつぶになって集まり、雲になります。雲の中でつぶが大きくなると、雨や雪となって地上に降り^ふります。地上に降った雨は、川に集まって海へ流れたり、地面にしみこんで地下水になったりします。地下水は、長い年月をかけて、わき水として再び地上に現れることもあります。

このように、水は「海から空へ、空から地上へ、地上から海へ」という旅を、くり返し続けています。この水の流れを、水の循環^{じゅんかん}といいます。

わたしたちが毎日使っている水道の水も、この大きな旅の途中^{とちゅう}の水なのです。水を大切に使うことは、この旅を守ることにつながっています。

